

『NEWデリバリー通信』 Vol15

10月最初の土曜日、うちの子の保育園での最後の運動会が行われました。今年はイベントがある度に天候に恵まれず、この日も朝からの雨(-_-;)。場所取りに保育園に行くと園長先生が「晴れますかね?」と来る保護者みんなに聞いていました(^^)。体育館へ移動決定後晴れ間が...、結局は園庭での開催に(^o^)。めでたしめでたしでした...

発行元: 大町デリバリーサービス松尾新聞店

発行枚数: 2600部

発行日: 不定期 宅配されています信濃毎日新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞といっしょにお届けしております。ご意見ご感想お待ちしております!

大町巡拝の旅 『仁科三十三番札所めぐり』

第三回目となりました『仁科三十三番札所めぐり』、今回は十六番札所 海口庵(かいくあん)と十五番札所 堂崎觀音、二力所とも大町 平地区にある札所の紹介になります。

<十六番札所 海口庵(かいくあん)>

『打ち寄する 浪のひびきも 海の口 ひらく御法の 声かとぞ聞く』



(大町市平・東海ノ口の国道148号から細い道を登った場所にある「かいくあん」。海ノ口公民館の東側。国道から見える大きなアカマツが公民館のある場所の目印。木崎湖北端付近東方。境内には沢山の石仏、石神が並び庚申様もあり、見ざる言わざる聞かざるの猿の姿が刻まれている。海ノ口は、農具川が海ノ口池(木崎湖の古い呼び名)に流れ込む流入口が地名の由来。)その昔、海ノ口村は東海ノ口と西海ノ口の二つに村を分けており、庄屋も二人いて村を治めていた。幕末の安政年間にこの村は戸数九十軒、人口460人である。東海ノ口の一津周辺は大遺跡地といってよく、縄文時代の早期から晩期、平安時代、中近世の遺構が調査されていたほど。なかでも縄文時代後期の、ヒスイを加工したあとが検出されたことで、内陸部におけるヒスイ工房跡の初見として話題になった。さらに西海ノ口にある上諏訪神社に所蔵されていた、弥生時代の銅戈は、日本における銅戈の分布の最北端にある遺物として注目されている。

海口庵は、いつ開創された堂なのかわからないが、元文の時点では桁行三間、梁間二間半の觀音堂が記されている。しかし現在の建物は元文当時のものではなく、おそらくは明治になってからの再建であろうといわれている。本尊は像高71センチメートルの簡略な聖觀音像です。木崎湖北東の湖岸には「あべっとさま」と呼ばれる小さな祠があります。むかし森の城主であった安倍五郎丸という人が、敵に敗れて城を脱出し、湖を泳ぎわたって逃げたとき、飼っていた犬がともに泳ぎ、鶏がともに飛んだため敵に発見され、ここで討たれたというので、ここを「あべっと」と呼んだんだそうです。そして村人はここに慰靈の祠を設けた。(後にこの付近では犬と鶏を飼わなくなったという話も残っているそうです。) 右画像は海の口上諏訪社広形銅戈



<十五番札所 堂崎觀音>

『今ここに 新たに建し 堂崎や むかしに返る 池のさざなみ』

サンアルピナ青木湖スキー場方面へ向かう、大町市平・青木湖畔南部の青木湖周回道路から、一本西へ入った市道沿いにある。昭和電工信州事業所の青木発電所裏手。以前のお堂は建て替えられ、寺名の表札などの一部が新しい建物に取り付けられている。



仁科33番札所の最北端。堂崎は、もともとは集落の北側の湖に突き出した岬の先にあった。街道を行く旅人にとって危険な場所に祀って、その安全を祈ったことでしょう。この岬の名も堂のさきにあることから堂崎といいうそうです。現在地に移ったのは幕末。その昔、青木村は幕末の時点で戸数十五、人口105人の小規模村だと記されています。この地域の湖に近いあたりは、地上から湖棚にかけての大遺跡で、昭和二十九年に竣工した昭和電工青木発電所の排水路の工事の折には、旧石器時代や縄文時代草創期から晩期にかけてのたくさんの遺物が出土して、人々を驚かせたそうです。神社仏閣帳にみえる本尊は、昭和三十七年に盜難にあい、いまも行方が知れない。しかし幸いにも盜難以前に模刻されていて、その聖觀音立像が現在祀られている。仏像としてはやや風変わりな特徴的な像です。模刻の作者は松本の清水湧水という人で、その由来が像の背面に記されています。

参考資料『仁科三十三番札所めぐり』篠崎健一郎著

恒例 第38回 新行そば祭り

10月10日(土)~20日(火)

お申し込み・お問い合わせは各民宿へどうぞ

新そばと聞けば ゴクリとのどが鳴り

お待たせしました。新そばです。

新行で種れたばかりの本物の味を

広い民宿の座敷で思う存分味わってください。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。今年も好評開催!そば食い大会



古屋荘 0261(23)1713

山品 0261(23)1230

ヨコテ家 0261(23)1314

(本年度は休館とさせて頂きます)





『ドギーバック』

日本は自給率41%（カロリーベース）の「食料輸入大国」。ところが、食品産業界が出す年間廃棄物量が1千万トンを超えており、食品廃棄物の発生抑制、減量、再生利用は国の大好きなテーマです。こうち約304万トン（07年農林水産省統計）のゴミを出している外食産業で、それを減量する試みとして、「ドギーバック」が注目されています。名前の由来は「ワンちゃんのために」。食べ残し持ち帰り用の折りたたみ容器です。これまで持ち帰り容器を提供する店はありました。しかし、その容器は使い捨てのものがほとんどでしたが、イタリアのベネトン社と提携しエコバックなどを販売してきたレックジャパンが、小さく折り畳むことができて、洗って再利用もできるプラスチック（ポリプロピレン）製の箱を商品化しました。大小2個1セットで税込み819円。一部の百貨店、大手雑貨店などで販売されています。食べ残しの削減を促進する運動は自治体でも行われていて、たとえば福井県では、食べ残しを持ち帰る「おいしいふくい食べきり運動」を実施しています。

持ち帰りは自由ですが、持ち帰った食品の衛生管理は自己責任になります。



3



<木崎湖周辺は アニメの聖地 >



唐突な見出しだすみませんでした。見出しだけではなんのことやら？という感じですよね(-_-;)。以前からミニコミに書こうと思いつつ、なかなか実現できなかったテーマを今回ようやく書く事ができました。さてさてこの内容を書くキッカケとなりましたが、思い起こせば×年前、小さかったうちの子どもと散歩に出かけると、海ノ口駅周辺にきぐるみ姿の方たちがいっぱい(^_^;)。たしかセーラームーンとよくわからないウサギ（何のキャラクターかは不明）その他にも数名着ぐるみがいたんです。もう子どもとビックリ(^_^_)。その時はなんで海ノ口駅に集合していたのかわからなかつたんですが、後にとあるアニメ好きな方にお話を伺い（アニメも録画したのを貸していただきましたが…）この木崎湖周辺が「おねがいティーチャー」「おねがいツインズ」というアニメに、実際の風景そのままで描かれ作られている為だと初めて知りました。

アニメに出てくる風景は、木崎駅・稻尾駅・海ノ口駅・ゆーぶる木崎湖・木崎湖温泉・ローソン木崎（今現在の新しくなったローソンでなく昔のローソンです）・木崎湖キャンプ場の浅橋・国道沿いのYショップニシ（アニメの中では縁川商店として登場）などなど。。。聖地として訪れてくれる方たちは、いくつもグループがあり それぞれ木崎湖周辺のゴミ拾い活動・各駅のお掃除などもやってくれてます。毎年お盆に行われる木崎湖花火大会 今年は聖地を訪れているグループも協賛に加わり花火大会に一役買ってくれていたのはご存じでしたか？。

大町市の観光材料としてアニメをもっと大々的に取り上げていったら面白いのではないかでしょうか(*^_^*)。今年の夏に公開されました「サマーウォーズ」というアニメ映画は、長野県上田市がモデルとなって出てきます、ひょっとするとアニメの聖地は上田市にとって変われるかもしれませんね！。いっそのこと大町市がそっせんしてアニメ招致に取り組んでみてはいかがでしょうか？ オリンピック招致みたいに(^o^)。



木崎湖温泉 星湖亭南側の公園



国道沿いYショップニシ（縁川商店）



今年夏に公開された「サマーウォーズ」ひょんな事から巻き起こった世界の危機に、主人公と長野上田にある彼女の田舎の大家族が戦い挑んでいくストーリー



こんな話題を書くと《この記事書いている人もアニメおたくでは？》なんて思う方がいるかも？、確かにアニメは好きですけど おたくと呼べるレベルではないのでご安心を(*^_^*)。うちの子とよく見ているのは、ジブリ映画作品とケロロ軍曹です(^_^_)

(有)大町デリバリーサービス松尾新聞店

大町市大町2675-7（ハローワーク大町すぐ近く！）

電話：フリーダイヤル 0120-030553

FAX 0261-22-8402

HPアドレス : <http://shimbun.web.fc2.com/>

